

# 中部自治会防災ニュース

ごあいさつ:5月に防災ニュース第1号として、食料・飲料水とトイレパック備蓄のすすめをお届けしましたが、お読みいただけましたでしょうか? 今回はもう一步踏み込んで「政府発表」や「東電情報」では得られない本音情報で、防災について考えてみます。一昨年確か「ごみの鉄人」を招いた講座がありました、今回は「私たち自治会理事」が、当地域の「防災の鉄人」にいろいろ聞いてみました。

まず裏面の絵図を見て欲しいんだが

どこかでは見た記憶があるんですが……

これは「青葉区ガイドマップ防災マップ」といって基本中の基本情報。必ず1家に1冊あるはずだが、無かったら自治会館に置いてあるので、取りに来て家族全員で見て欲しい。



どこがポイントなの?

全部大切だがまずは地震時3原則が大切。1. わが身の安全、2. 火の始末、3. とおり近所の助け合い。下図が基本。

**地震発生**

災害発生時にはあわてず行動してください。

1. その場にあった身の安全  
身を守る。出口の確保。
2. すばやく火の始末  
火が出たら大声を出して周囲に知らせ協力して初期消火。
3. とおり近所の助け合い  
とおり近所に声をかけ助け合う。

それくらい知ってるわ!

まあ待ちなさい。もう少し全体の流れから考えてみましょう。まずは下図を見て下さい。

家に留まれる場合					家に居れない場合	
1. 自分の安全	2. 家族の安全	3. 火等の始末	4. 隣近所の助け合い	5. 一いつき避難場所での支え合い	6. 防災拠点や広域避難場所への避難	7. 知人親戚宅への避難
← 自助 →			← 共助 →		← 公助 →	

3月11日の東日本大震災のとき、自宅に居られた皆さんはどんな行動をしましたか? 1. 自分の安全確保、2. (自宅にいる場合の)家族の安否確認、3. 火等の始末・自宅被害状況の確認……更に外出中の家族の安否確認、親戚・知人との連絡……だったのでではないでしょうか

そういえば昨年だったか「一いつき避難場所訓練」がありました、どんな場合に一いつき避難場所に行くのかわからないとか、実際の災害の場合一いつき避難場所を使わない場合があるのではとか、急な坂があるので行くのに困難であるとかの意見が出ましたが……

裏面の図で右上の「避難する」から→は「一いつき避難場所」「広域避難場所」「震災時避難場所(地域防災拠点)」の3か所に出ているね。これが答え……。ここは上図の「共助」に当たる部分で、ある意味でここが一番大事な行動じゃ。あなたは3月11日に隣家や前の家に安否の声かけをしましたか? また隣近所の家から声が掛かりましたか? これが出来てこその一いつき避難場所!

一いつき避難場所は場所も重要ですが、むしろ隣近所の助け合いの行動そのものを指すのですね

ところで私のところの地域防災拠点は美しが丘中学校と聞いた覚えがあるんですが……

この地域の住民は自分の地域防災拠点は知っているはずだが、念のため防災マップでは……



中部自治会では班ごとに拠点が決まっています、1~10班が美しが丘小学校、11~43班が美しが丘中学校。何? 自分の班が分からない? \(\text{°}\text{°}\)ココハドコ? (\text{°}\text{°})/アタシハダアレ?

拠点については、昨年の訓練のとき、美小が拠点だが美中の方が便利である、坂を上って遠い美中に行くより私は元小に行く、といった声があったのですが……

まずは裏面の震災時避難場所(地域防災拠点)の図(右図)を良く見て欲しい。拠点の主な機能は「食料、水、救援物資などの配布場所」「生活情報の提供場所」「家が崩壊した方の一時的な生活場所」「家族の安否確認」です。

## 震災時避難場所(地域防災拠点)

- 食糧、水、救援物資などの配布場所
- 生活情報の提供場所
- 家が倒壊した方の一時的な生活場所
- 家族の安否確認

遠いとか上り坂であるとかだが、家に居られない場合の生活場所で常時行き帰りする所ではないため、自分の定められた拠点を利用して欲しい。もちろん緊急に助けを乞う場合など近くの拠点を頼ることはできるが、基本的には「自分の拠点」は守って欲しい。

更にもっと重要な理由は、拠点は「公助」であるということ。自分たちや近所では対応出来ない時、国や市からの援助を得るところです。例えば「安否確認」という仕組みがあり、他の拠点に行ってしまうと、今回の東日本大震災でも多くの例があったように「行方不明者」となってしまう、結果として親戚知人などに心配をかけてしまいます。滅多には無いでしょうが



そうだったんですか。ところで、防災拠点には何があるの? とか、東海地震のときの被害予測とか、備蓄飲料は3日で大丈夫? とか、怪我した時どこに行けばよいの? とか、まだまだ疑問が一杯あるんですが……

わしも今年目出度く後期高齢者! 疲れたのでまた来月にしておくれ(^o^)



# 地震発生

## 地震時3原則

災害発生時にはあわてずに行動してください。

1. その場にあった身の安全を守る。  
出口の確保。

2. すばやく火の始末。  
火が出たら大声を出して周囲に知らせ協力して初動消火。

3. となり近所の助け合い。  
となり近所に声をかけ合い助け合う。

## 自宅にとどまる

●町の防災組織（自治会・町内会等）あらかじめ決めてある班や役割に従って行動を！

自宅建物が火災や倒壊の危険がないときは、あえて避難の必要はありません。（状況に応じてください）

●情報のラジオなどで正しい情報を入手し、デマに惑わされないようにする。

●地域防災活動への協力  
地域での活動には積極的に協力を！

●ゴミの収集がはじまるまでは各家庭で保管

●電話の自粛  
過度の通知行為により通話止むを得ない場合は緊急以外は自粛します。

●要援護者の支援、協力  
声をかけあいましょう。

●がれきの処理  
復興に向けた活動。

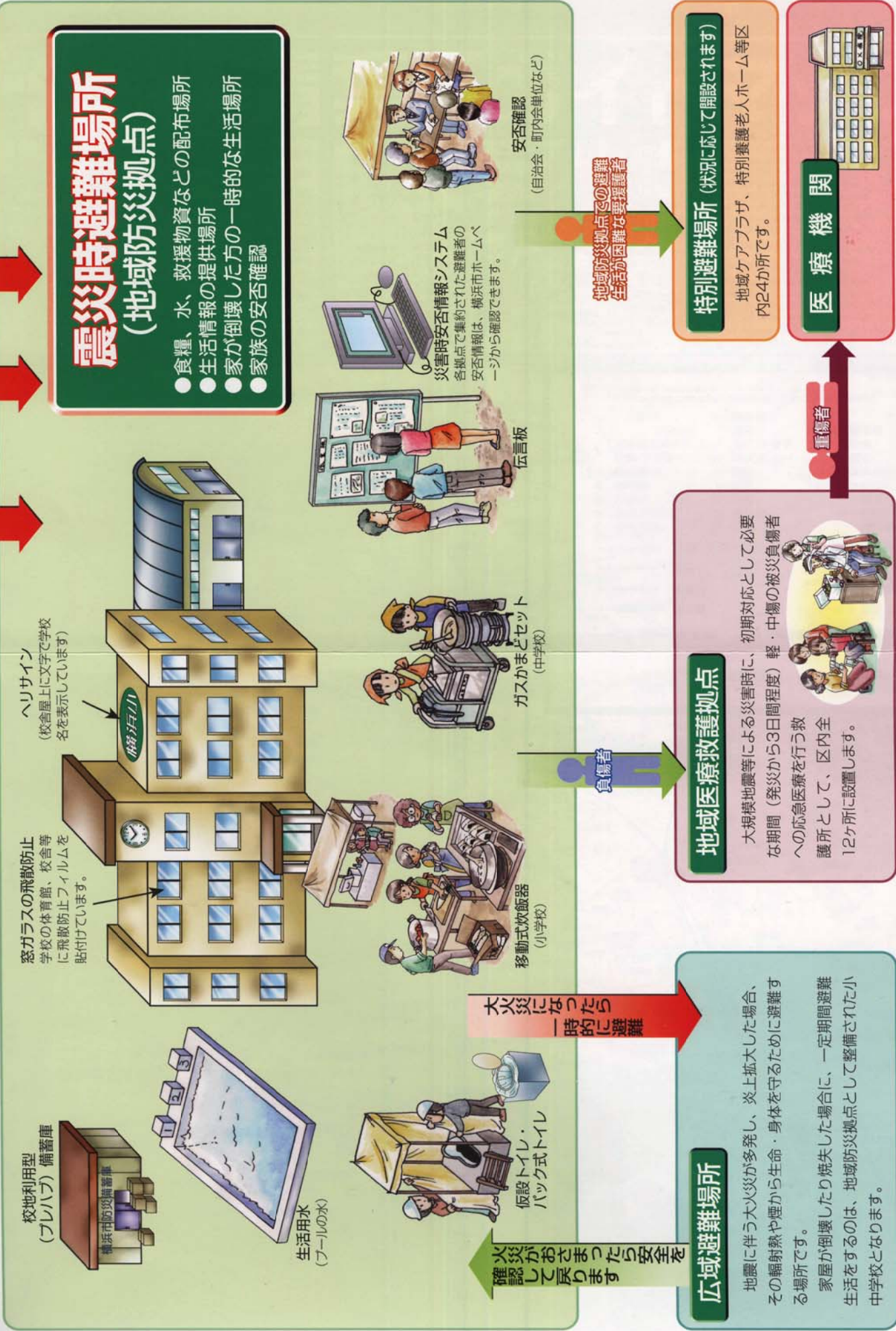
●防犯活動  
日没後など警察と連携し、巡回などの活動を実施します。

## 避難

●広域避難場所  
状況に応じて避難してください。一定期間避難生活を営むのは、地域防災拠点になります。

●避難時の心得  
●荷物は最小限に  
●近所どうし協力して避難場所へ  
●避難場所への移動は、崩れや狭い道を避け

●いつとき避難場所  
近所の公園・空き地など  
広くて安全な場所  
あらかじめ、自治会・町内会など、地域で決めておきます。



◎災害発生時には、イッツコムチャンネル「9ch」やFMサルス「84.1MHz」で避難勧告等の情報を得ることができます。  
◎平常時は、「くらしの情報」等の文字情報番組（FMサルス）や「防災あおば」(FMサルス)で防災に関する情報を得ることができます。